🞣 🞣 Haraguchi News 🞣 🞣

第25号

社員の皆様へ

新年あけましておめでとうございます。旧年中は、大変お世話になりました。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、2024年は十干では甲、十二支では辰にあたるため、甲辰(きのえたつ)の年となる。甲とは「甲

乙丙丁~癸」の始まりであり、物事の始まりととらえることができる。そして辰は発芽した植物がしっかりと

した形になる、勢いと大きなカ、成功ととらえることができる。この二つが合わさる甲辰は、新しいことを

始めて成功する、いままで準備してきたことが形になるといった、縁起のよい年になると考えられる。

コロナ禍の影を脱して迎える2024年。新たな成功を目指して、何かにチャレンジするのに最適な甲辰

です。さあ、何を始めてみるのもよいでしょう。新しいことに果敢にチャレンジしてみてください。

わが社においては、2024年4月から変更となる『改善基準』!!

いわゆる『2024年問題』において、前向きに対応をする為、現在準備を進めております。

- ① ドライバーさんの休みを、1日~2日程度増やす
- の 荷主様との 働き方の改 並の提案等その他

皆さん方の仕事と、生活が安心したものになるように、努力してまいりますので、どうぞご理解とご協力

を宜しお願い致します。

結びになりますが、社員の皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

代表取締役社長 生田友見

今年のテーマ 「自己革新」

人は自らの潜在能力の発揮を決定的に妨げる心の癖を持っていることが多い。そのような癖が解消した時に、その人の発揮能力は劇的に向上する。 その心の癖がとれることを「自己革新」と呼ぶ。 また経験を通じて獲得した新たな視点により思考や感性や行動が変わることがある。

今年も安全運転を誓りましょう

ドライバーの皆さん、新しい年を迎えました。心新たに、会社の安全運転を確保し、社員全体で無事故・無違反を達成することを誓いましょう。

また、運転者それぞれに安全運転の誓いを立ててもらい事故防止に力を合わせましょう。

とくに、前年に事故や違反のあった課ごとや運転者に対しては、この機会に再度、安全運転への決意を 新たにすることを働きかけましょう。よろしくお願いします。

また、健康面ではヒートショックの起こりやすい時期ですので、中高年だけでなく寒暖差に注意するよう呼びかけてください。

安金運転目標ードライバーの皆さんへ

●安全運転は新年の誓いから

具体的な目標を定めて事故防止を

今年1年、安全運転を続けて無事故・無違反を達成することを誓い、具体的な安全運転目標を立てましょう。

安全運転の目標は、

- ・意味のない進路変更はしない
- 信号のない横断歩道では歩行者を妨げない
- ・走行中の車間距離(時間)を4秒以上とることを意識する
- 黄信号では停止を基本とする
- ・後退(バック)時は、自分の目で目視確認を励行する
- 車両駐車時は、車輪止めを左側前輪タイヤ左右に設置する。
- ・乗車前に後方側から左側面、前方右側面(車両一巡して)の安全確認を励行する

など、自分自身守る実践的な目標を設定することが大切です。

とくに、昨年に交通違反や事故などを経験した人、ヒヤリ・ハット体験があった人は、そうした違反や事故を二度と起こさないように目標を考えてください。

安全目標は、出発点呼時に唱和しましょう。

2024 年使用の交通安全スローガン (運転者を対象にしたものの入選作)

- ・今日もまた あなたの無事故 待つ家族(内閣総理大臣賞)
- ・抜け道と 思うな そこは通学路(内閣府特命担当大臣賞)
- ・挙げる手を やさしく見守る 横断歩道(警察庁長官賞)
- ・飲みません 今日は私が ハンドルキーパー (全日本交通安全協会会長賞)
- ・ぎりぎりの 時間と車間が 事故を呼ぶ(")







●点検・整備の重要性を指導しよう

大型車の車輪脱落

冬場は足回りのチェックが重要

最近、走行中の車からタイヤが外れる事故が相次 ぎ、死亡事故も発生して大きな問題になっています。 国土交通省は近年、大型車の落輪事故が毎年多 発しているため、年度当初から大型トラックや大型

発しているため、年度当初から大型トラックや大型 バスを使用する自動車運送事業者に対して、「令和 5年度緊急対策」を提示して事故防止を呼びかけて いました。



しかし、<u>昨年12月1日に八戸自動車道で運送会社の大型トラックから脱落した後輪タイヤが、路肩で道</u>路保全作業をしていた32歳の男性作業員に衝突し、作業員が死亡しました。

大型車の落輪は、スタッドレスタイヤなど冬用タイヤへ交換した直後に発生することが多いので、冬場はとくに日常点検整備と一定期間後の増し締めなどが呼びかけられていますが、事故を起こした運転者は、点検の際に、目視だけでチェックし、点検ハンマーによるボルト・ナットのチェックを怠っていた可能性があります。

国土交通省は「大型車の車輪脱落事故防止に係る一斉点検の実施」をトラック運送事業の会社に求めています。

なお、軽自動車や普通乗用車でも、走行中に車輪が外れ対向車線の車に衝突したり、歩道上の女児に 衝突し重大な人身事故となっているケースがありますので、注意が必要です。

●点呼や朝礼時に点検の確認を

運転者の中には足回りも目視確認でよいと軽く考えているケースがあります。

確かに、乗用車などはそれで大丈夫かも知れませんが、<u>車両総重量8トン以上または乗員30名以上の</u> 大型車では、タイヤのボルト・ナットに指を添えてハンマーを使ってしっかりと音と振動を感じとり、緩みな どをチェックすることが、法令で義務づけられています。

大型車のタイヤは非常に重量が重く、歩行者や対向車に衝突した場合、重大事故に発展する危険性がありますので、管理者からの意識喚起が重要です。



健康管理 3 標一ドライバーの皆さんへ

●寒暖の温度差に注意しよう

心不全はヒートショックが一因

今年の冬は暖冬と言われていますが、最近気になるのは、ヒートショックによる死亡重症事例です。

心不全は寒暖の温度差などが原因で発症することがあり、とくに入浴時などが危険です。

温かい部屋から入った脱衣場が非常に寒かったり、 温かい室内から寒い屋外の場所に薄着で出たときな ど、血圧が急激に変化すると危険があります。

さらに、寒い場所で収縮した血管が熱いお風呂で 急激に広がると、心臓に大きな負担をかける場合が あります。



とくに脱衣場が 10℃程度で風呂が 40℃の場合は、温度差が 30℃もあるので、身体に与えるストレスが 大きいのです。

また、全館空調なら安全と考えがちですが、全館暖房のビルで階段部分だけ暖房がない場所があり、 非常に寒い階段部分を昇降していて心不全発作が起こった例もあります。

高齢者の危険と考えがちですが、実際には若い人でも飲酒時や肥満が原因となってヒートショックによる心筋梗塞や脳出血などを発症し、浴室で溺死する危険は十分にあります。